

News Release

2021年3月25日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

3年連続、年100件以上発生 ～点検と情報確認で自転車の製品事故を防ぎましょう～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

今冬の寒さも終え春を迎え、また昨年から続くコロナ禍の影響も続いており、通勤・通学等で自転車の需要が例年にも増して増える季節となりました。4月も近づき、自転車で移動される方がより増えてくる時期になっています。

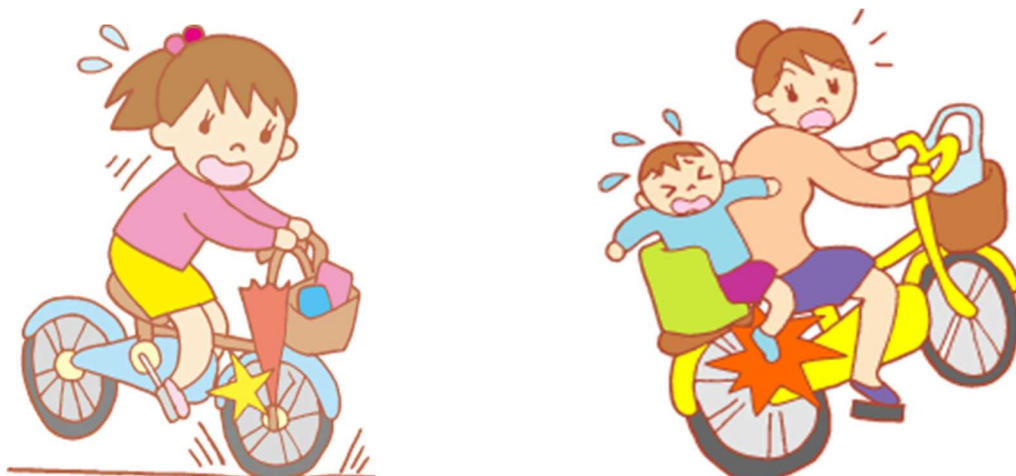
2015年度から2020年度までの6年間に、NITEに通知のあった全国の製品事故情報（※1）のうち、自転車の製品事故は647件ありました（※2）。自転車の事故は重傷に至る場合が多く、647件中393件の約60%が重傷事故でした。

東北地方6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）での2015年度から2020年度までの6年間に自転車の製品事故は9件ありました。被害状況は、重傷8件、軽傷1件であり、重傷事故の割合が非常に高くなっています。

2020年では緊急事態宣言が解除された後の6月に事故が多く発生していることから、3月21日までの緊急事態宣言が解除された後も事故の増加が懸念されます。自転車は手軽で便利な乗り物であり、電動アシスト自転車も非常に多く見かけるようになりました。自転車の誤った使い方をしないように、また乗車前の点検など日頃から自転車の状況を確認し、自転車の事故を未然に防ぎましょう。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

（※2）2020年の数値は、詳細を確認中のため参考値とします。



（イメージです。）

表1 自転車での年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2015年度	0	0	3	0	0	0	3
2016年度	1	0	1	0	0	0	2
2017年度	0	0	0	0	0	0	0
2018年度	0	0	0	0	0	0	0
2019年度	0	2	1	0	0	0	3
2020年度	0	0	1	0	0	0	1
合計	1	2	6	0	0	0	9

表2 自転車での事故の県別の被害状況別事故発生件

被害状況	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	1	2	5	0	0	0	8
軽傷	0	0	1	0	0	0	1
拡大被害	0	0	0	0	0	0	0
製品破損	0	0	0	0	0	0	0
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	6	0	0	0	9

表3 自転車での事故の県別の被害状況別事故発生件数

原因区分	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	1	1	0	0	2
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	1	0	0	1
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	1	0	0	0	1
	F: その他製品に起因しないもの	1	0	0	0	0	1
G1、G2: 原因不明のもの	0	0	3	0	0	0	3
H: 調査中のもの	0	0	1	0	0	0	1
合計	1	2	6	0	0	0	9

2. 主な事故事例

○2015年5月31日 自転車（宮城県、10歳代男性）

事故内容： 自転車で走行中、前輪がロックして転倒、負傷した。

事故原因： 調査の結果、当該製品の
前照灯ステーの取付台が前輪側に変形し、前照灯の固定ねじ頭部と前輪スポークの隙間が狭くなっていたため、ねじ頭部とスポークが接触して前輪がロックし転倒したものと推定されるが、前照灯ステーの取付台が変形し移動した理由が不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

○2016年11月7日 自転車（宮城県、10歳代男性）

事故内容： 自転車で走行中、泥よけが前輪に巻き込まれ、前輪がロックし、転倒、負傷した。

事故原因： 当該製品の
前輪のスポークと前泥よけステーの左脚に線材が引っ掛かっており、前泥よけが折れ曲がってタイヤと前ホークの間に巻き込まれ、前輪がロックした状態であった。これらのことから、走行中に線材が前輪に巻き込まれたため、前輪がロックしたものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

○2016年5月2日 自転車（青森県、10歳代女性）

事故内容： 走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。

事故原因： 当該自転車の
詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の前ホーク及び前輪のスポークの状態から、前輪に異物が巻き込まれて前輪がロックしたため、前輪が横向きとなり転倒したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

○2019年5月5日 自転車（岩手県、60歳代男性）

事故内容： 自転車に乗車しようとしたところ、サドル部に右足をぶつけ負傷した。

事故原因： 当該製品の
サドルは超軽量タイプのため、サドル後端はクッション性のある素材で覆われていない構造であり、サドルのベース部分、カバー部の表側及び裏側に変形や傷等は認められず、舟線に変形等は認められなかった。当該製品のサドルに異常は認められないことから、使用者が当該製品に乗車する際の注意不足により発生した事故と推定される。

○2019年8月16日 自転車（宮城県、男性40歳代男性）

事故内容： 自転車で走行中、ハンドルがロックし、転倒、右肘を負傷した。

事故原因： 当該製品は、
ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。

○2019年9月19日 自転車（岩手県、50歳代女性）

事故内容： 自転車で走行中、ハンドルがロックし、転倒、負傷した。

事故原因： 上記2019年8月16日に宮城県で発生した事故と同じ事故原因による。

3. 製品事故の実験映像につきまして

製品事故の写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構＋NITEのロゴ」としてください。

【編集人のつぶやき】

新型コロナウイルス感染者数はなかなか収まってはくれず、宮城県においては今年4月11日まで独自の緊急事態宣言を発するに至りました。春の陽気が感じられる中、お花見などの行楽に出かけたい気持ちは山々なのですが、残念ながらまだしばらくは外出自粛が続きます。

とはいえ、出かけないといけない時はあり、混雑する電車やバスなどを避けて外出するために、自家用車、バイク、自転車の移動をされている方も多いと思われます。もうすぐ4月ですし、通勤通学で自転車を利用する方が増える時期となりました。編集人も折りたたみ自転車で最寄り駅への移動や、近所への買い物など便利に利用しております。以前に自分の折りたたみ自転車のたためる部分のネジが緩んでいたことがあり、ヒヤリとしたことがありました。また傘がスポークと干渉したため、転びそうになったこともあります。

自転車はとても便利な乗り物で、更に陽気の良い日は非常に快適です。この便利な自転車を、乗車前のちょっとした日常点検や、誤った使い方をしないよう注意し、安全に利用しましょう。

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所

ナイト

(略称:NITE)

担当:菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、照井(てるい)

電話:022-256-6423

mailto: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

